

科目名	環境デザイン論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	柳原 博史、岩井 達弥				
内容および計画	<p>環境デザインの様々な取組みを理解することにより、人間と環境の関係について視野を広げ、身の回りのデザインをより深く観察し創造する眼を養う。環境デザインは、我々の生活を大きく変化させた技術革新、モノの巨大集積をもたらした大量生産、自然生態系の変化、消費生活の根幹をなす個人および社会のあり方の変化等の近年の一連のダイナミズムの中で発展してきた。環境に係わるデザインの問題は単眼視的な捉え方では望ましい解決法に結びつかない。より総合的な観点からのアプローチが必要とされる。</p> <p>ここでは、幅広いジャンルに及ぶ環境デザインの本質について学ぶ。具体的には多様な環境デザインの事例を振りかえりながら、環境デザインに共通する総合的視座や環境デザインの原点の姿を探る。また環境デザインを理解する上で重要な用語や手法についても解説する。</p>				
1	環境デザインの実態 身の回りの環境のデザインにおける問題点				
2	環境デザイン誕生の時代背景				
3	環境デザインの定義と捉え方				
4	環境デザインとしてのデザイン（1）空間系・・・外部環境を中心として				
5	環境デザインとしてのデザイン（2）装置系				
6	環境デザインとしてのデザイン（3）演出系				
7	環境デザインの意味のまとめ				
8	環境デザインの基礎（1）人間の生理的特性、心理的特性				
9	環境デザインの基礎（2）景観構造分析の基礎用語				
10	環境デザインの基礎（3）景観演出の基礎1 宗教空間における聖と俗の分離				
11	環境デザインの基礎（4）景観演出の基礎2 参道空間と外部環境空間のデザイン手法				
12	環境デザインの基礎（5）景観演出の基礎3 廻遊式庭園の演出手法				
13	環境デザインの基礎（6）公園・都市計画・景観等における法規				
14	環境デザインの発想 調和の構築（1）空間と道具				
15	環境デザインの発想 調和の構築（2）環境と色彩				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
必要に応じて資料を配布					
参考書	『ランドスケープエコロジー』武内和彦著、朝倉書店、2006年（改訂版） 『生物多様性のしくみを解く』宮下直著、工作舎、2014年 『環境をデザインする』環境デザイン研究会編、朝倉書店 『最高の植栽をデザインする方法』（建築設計シリーズ2）建築知識編（最新版）2014年				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	レポート（ミニ設計課題）			70	
	出席			20	
	授業態度			10	

既定の出席日数に満たない場合は単位認定を行わない。	
<b>学習到達目標</b>	身の回りの環境及びデザインについての視野を広げること
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：柳原：2000年に設計事務所設立。国内外で都市空間、農村空間、公共施設、商業施設、集合住宅などのランドスケープの設計に携わってきた。この経験をもとに環境デザインの基礎事項を講義する。
<b>その他</b>	必須・選択の別：選択